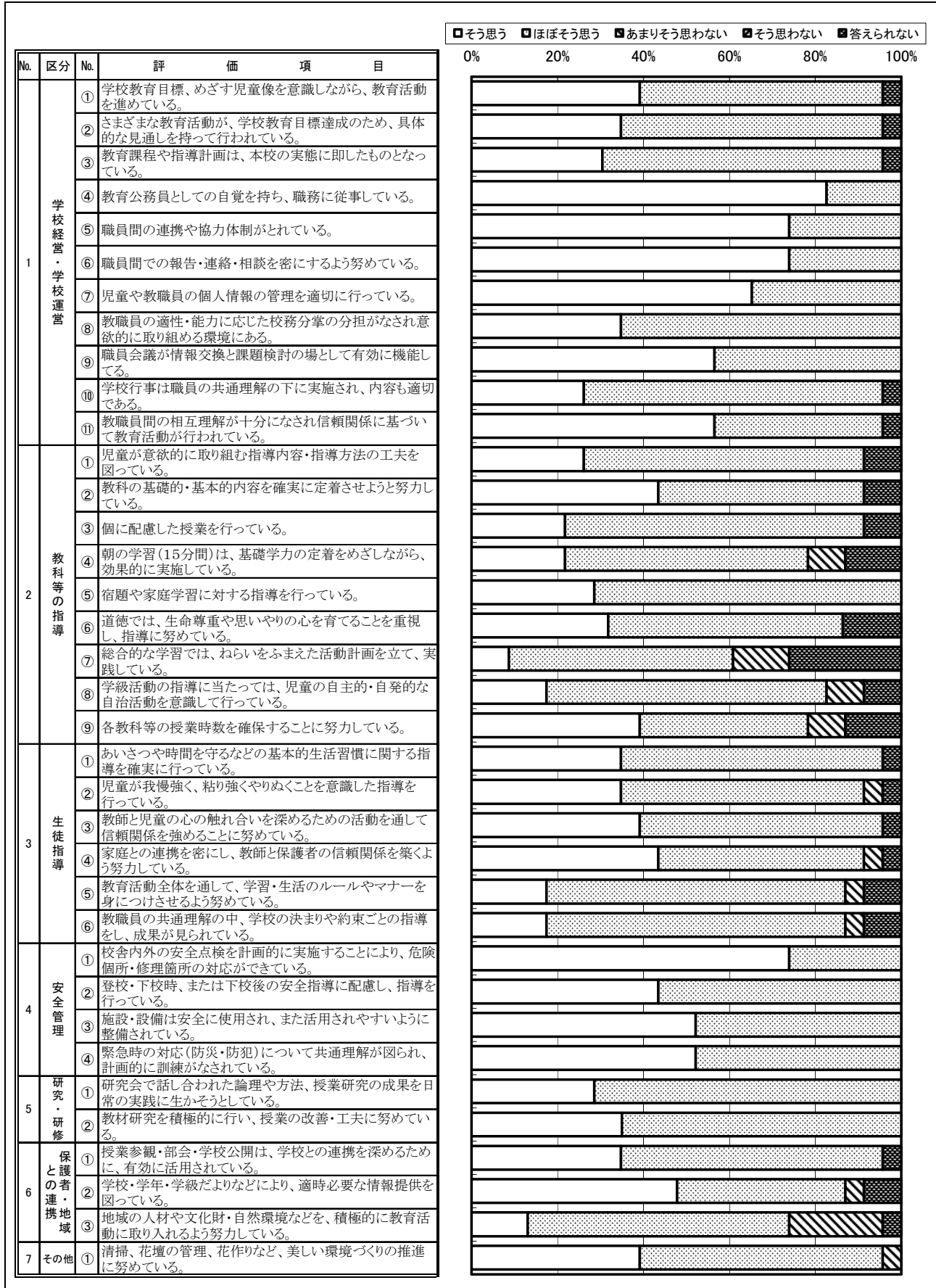


1 教職員による自己評価について

平成22年12月実施

(1) 集計結果



(2) 記述欄集計

① 学校経営 学校運営

- 学校行事とくに集会については、職員会議でも話題になった通り再考したほうが良い。
- 職員間の人間関係が良好で、大変気持ちよく仕事のできる職場だと思う。教育活動を行なう上で、そのことがプラスに働いていることを実感している。

② 教科等の指導

- 基礎的、基本的内容の定着については、各担任が努力しているが、なかなか徹底できない児童も多いのが現実である。人数の多い学級、複数下校の徹底等、課外学習の計画を立てにくく、個別指導がしにくい現実がある。
- 個に配慮すればするほど、全体に目が行き届いていないような気がして不安になる。
- 時間がなかなか取れない中、個別懇談のときに、指導が必要な児童を集めて学習させたことは良かった。
- 諸行事への取り組みの結果、授業時数が確保されているか心配。また時数だけではなく、学習内容が児童に定着しているのか心配。

③ 生徒指導

- 廊下を走ること、集会行事中の私語など、まだ指導が必要だと感じる。
- 1学期より子どもたちの挨拶の様子がよくなってきていると感じる。児童会本部の取り組みと共に、職員もとにかく挨拶の声をかけていくといいと思う。
- 基本的な生活習慣については、折にふれ、それぞれのところで指導しているが、あいさつ、授業中や給食中のマナー、廊下の歩き方、言葉遣い等、気になるところが多い。今後も職員一同の共通理解のもと、指導を続けていく必要がある。

④ 安全管理

- こわれた所、物にすぐ対処していただけるので、とてもありがたい。

⑤ 研究・研修

- 全ての単元では、できていないが、軽重をつけながら、「この単元では、この力を！」と、意識するようにしている。

⑥ 保護者・地域との連携

- 部会の参加者があまり多くないので、お便り等で呼びかけを繰り返したい。
- 関さんや志村さんに教育ボランティアとして、協力していただいているのを見て、地域の方をどのように活用し教育活動に取り入れていったらよいか参考になった。

⑦ その他

- 中休み30分、短縮の日も変わらないという日課は、児童指導には有効的な時間である。
- 朝学習は、「読書」が毎日でも良いと思う。これまでの取り組みから、子どもたちは本を読む習慣がついていると感じる。毎日、読書からスタートするのは、いいと思う。
- 学級担任が、他学年に行つての読み聞かせは、本とのふれあいだけではなく、職員と子どもとの交流の意味でもいいと思う。
- 清掃時に担任が指導したり、児童会でクリーン日を設けたりしていることにより、成果が上がっているが、時々大声で話したりふざけたりする姿も見かける。黙ってとまではいなくても、なるべく話をしないなどの指導が必要だと思う。
- 5年生が中庭の草取りをしてくれたので、いつもきれいだった。
- 学級のこと、保護者対応など、相談しやすい雰囲気づくりができていた。また、校長先生の適切で具体的なアドバイスが頂けるのがありがたかった。

《考察》

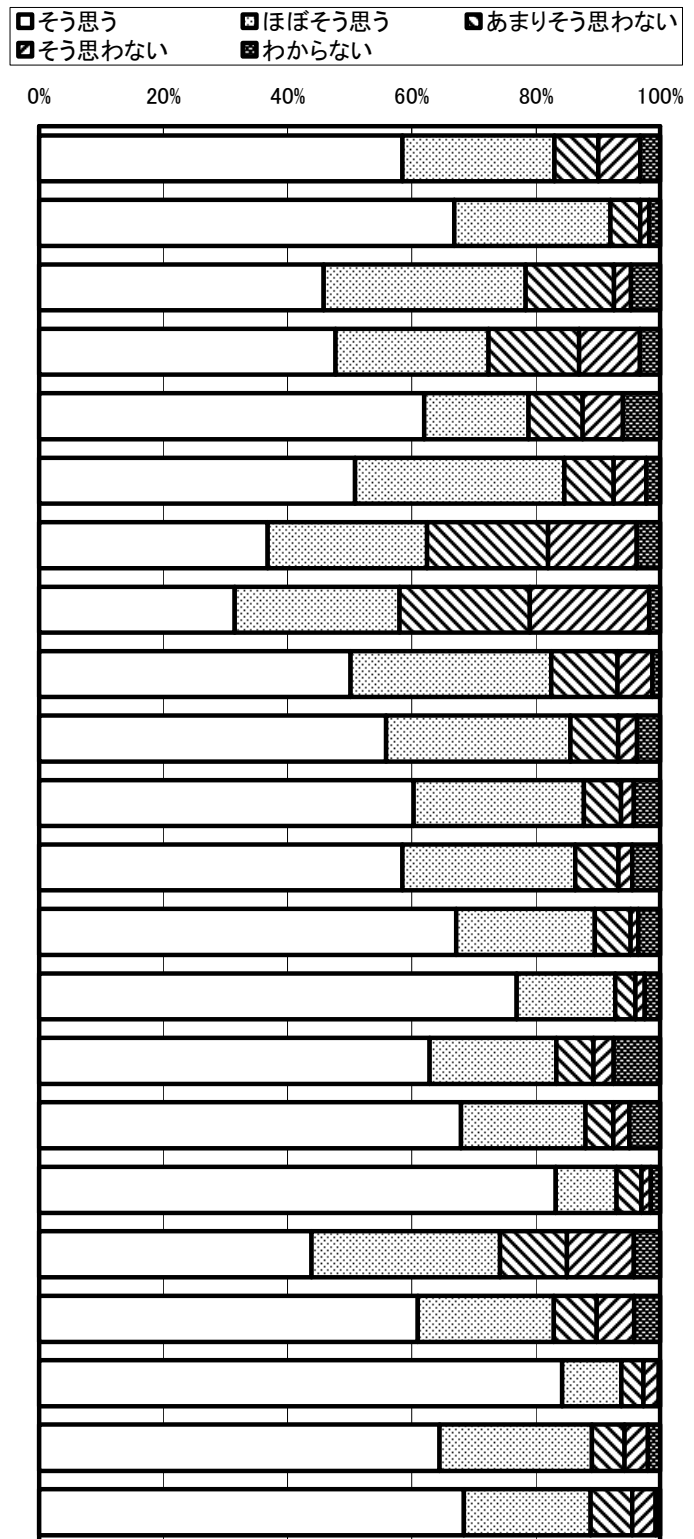
- (1) 1学期に比較し、全体的に肯定的な回答が多くなり、良好な結果だと言える。
- (2) 基礎的基本的な内容の定着に努力し、個別懇談中に補習を行うなど工夫もしているが、今後さらに工夫や努力が必要である。
- (3) 総合的な学習への計画的な取り組みと地域人材のより一層の活用が今後の課題だと言える。

2 児童アンケートについて

平成22年12月実施

(1) 集計結果

質 問 項 目
① わたしは、学校へ行くことが楽しい。
② わたしは、友達と仲良くしている。
③ わたしは、友達にいやがることを言ったり、いやがることをしたりすることが最近ない。
④ わたしは、友達からいやがることを言われたり、いやがることをされたりすることが最近ない。
⑤ わたしには、困った時に、相談にのってくれる友達がいる。
⑥ わたしは、授業がわかる。
⑦ わたしは、授業でわからないことなどを先生に質問しやすい。
⑧ わたしは、自分で考えたことを、進んで発表している。
⑨ わたしは、先生や友だちにしっかりあいさつをしている。
⑩ わたしは、掃除や自分の仕事に、しっかり取り組んでいる。
⑪ わたしは、命の大切さや社会のきまりについて、学んでいる。
⑫ わたしは、自分を大切にすることや友だちへの思いやりについて、学んでいる。
⑬ 先生は、わたしたちの意見や考えをよく聞いてくれる。
⑭ 先生は、勉強でわからないところがよくわかるように教えてくれる。
⑮ 先生は、わたしが努力したことを、認めてくれる。
⑯ 先生は、いじめやけんかでわたしたちが困っている時、よく取り組んでくれる。
⑰ 先生は、やってよいこと・悪いことを、しっかりと教えてくれる。
⑱ わたしは、家族に学校での出来事について、よく話す。
⑲ わたしは、家で交通事故や不審者から身を守る方法を教えてもらい、気をつけている。
⑳ わたしは、朝ごはんを食べて、登校している。
21 わたしは、学校からの便りや通知を、家の人にわたしている。
22 わたしは、家庭学習(宿題など)をしっかり行っている。



① 「わたしは、学校へ行くことが楽しい」 … 83.0% (そう思う=58.5%, ほぼそう思う=24.5%)

⑥ 「わたしは、授業がわかる」 … 84.5% (そう思う=50.9%, ほぼそう思う=33.7%)

⑭ 「先生は、勉強でわからないところがよくわかるように教えてくれる」
… 92.8% (そう思う=76.9%, ほぼそう思う=15.9%)

《考察》

(1) 学校生活について

- 学校生活を楽しんでいる児童は1学期より増えている。今回の集計には1年生も参加しており、1年生のほとんどが学校へ行くことが楽しいと答えていることが関係している。
- 1学期と同じように、友達と仲良くしていることや、授業がわかると答えている児童が多いことなどがその背景として考えられる。
- 挨拶の様子は1学期よりよくなっていると感じているが、挨拶をしていると答えている児童の割合はほとんど変わっていない。

(2) 学習に関して

- 授業がわかると答えている児童が多い。その背景としては、「教師の授業のわかりやすさ」や、「子供たちの努力を認める、話を聞いてくれる」等の点で、子ども達は良い印象を持っている。
- 発言や質問に関して、児童は消極的な傾向が見られる。
- 授業でわからないことを、進んで先生にできないと答えている児童が比較的多いことから、わからない内容についての解決の手立てとして、教師に進んで質問ができるように児童・教師双方の姿勢づくりが必要かと思われる。
- 「先生は私が努力したことを認めてくれる」の項目は、わずかだが1学期より減っている。子ども達の行動をよく見たり、言葉にして認める声かけをさらに心がけていくことが必要だと思われる。

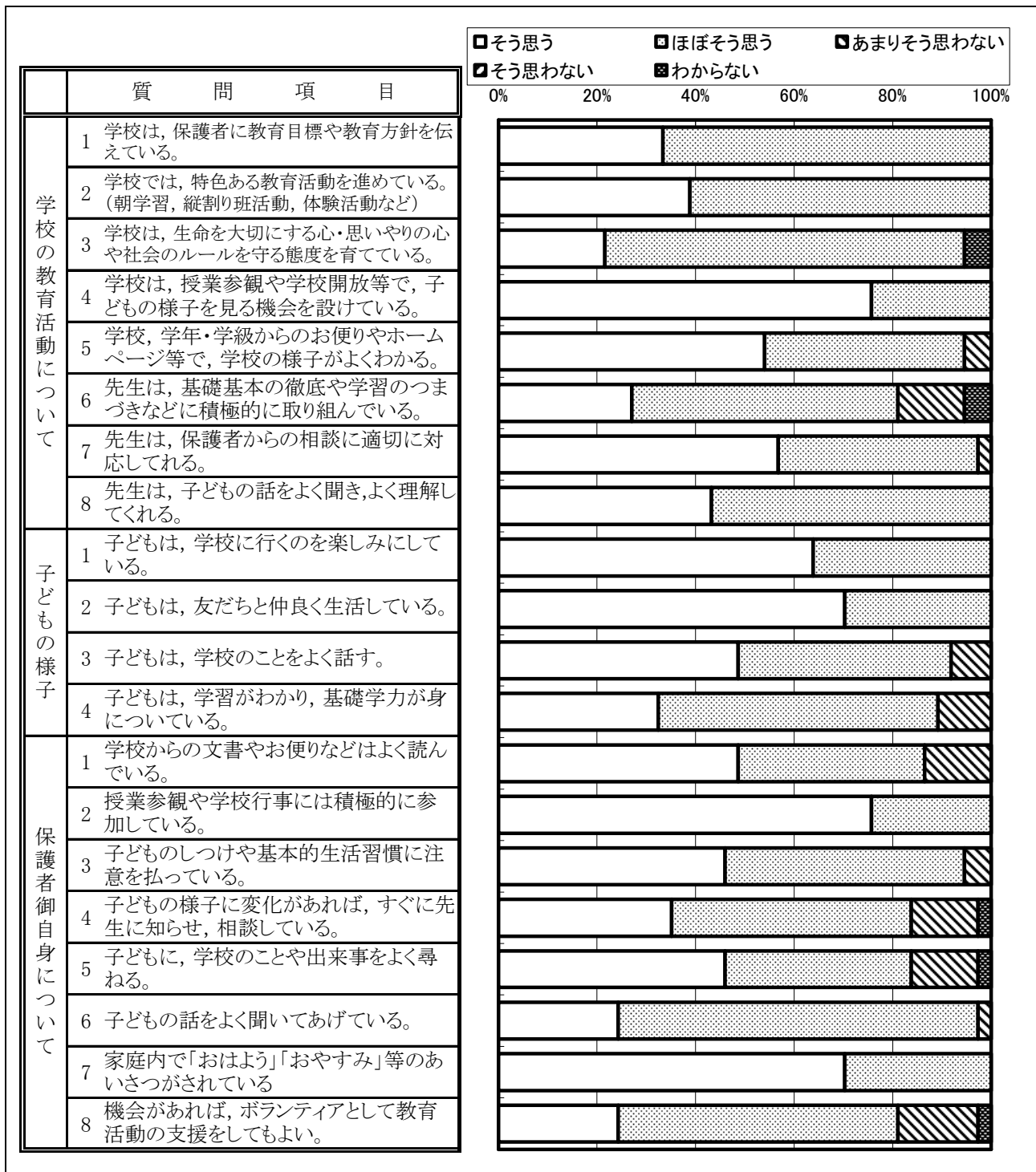
(3) 家庭でのことについて

- 1学期の様子とほぼ同じで次のような結果だった。
- 学校での出来事はあまり話さない様子が見られる
- ほとんどの子が朝ごはんを食べている。
- 家庭学習（主に宿題をさしていると思われるが）は身につけている児童が多い。

3 保護者（PTA役員）アンケートより

平成22年12月実施

(1) 集計結果



(2) 記述欄より（今までの取り組みで有効だった取り組み）

- ①学校からのたよりなどが増え、学校の様子を知る事ができるようになった。また、運動会の際にPTA役員を中心に張り紙などをして、でお互いに注意しあったことは良かったようである。
- ②合唱発表会を全校で行ったことは、聞きごたえや見ごたえがあつて良かったようである。
- ③子どもの学習に対する意欲を高める手だてとして、シール・メッセージカードの利用や多くの先生に教えてもらうことも効果的だと感じている保護者もいる。
- ④学校教育の当事者としての参画を促したことにより、保護者の意識が高まってきているようだ。

《考察》

(1) アンケート全体より

○肯定的回答だけとなった質問項目が前回は5項目であったが、今回は8項目になった。

「学校は保護者に教育目標や教育方針を伝えている」

「学校では特色ある教育活動を進めている」

「学校は、授業参観や学校開放等で、子どもの様子を見る機会設けている」

「先生は、子どもの話をよく聞き、よく理解してくれる」

「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」

「子どもは友だちと仲良く生活している」

「授業参観や学校行事には積極的に参加している」

「家庭内で“おはよう”“おやすみ”等のあいさつがされている」

(下線は前回は肯定的回答だけの質問項目です)

○前回同様、全質問項目とも肯定的な回答が80%を超えているため、保護者は学校教育に対して好印象を持っていると考えてよい。

○前回は比較し、否定的な回答の割合が減少してきている。これは、学校や教師と話し合うことが多くなり、お互いに理解が進んできている結果だと思われる。特に子どもの様子は、よい方向に変容しているように、保護者は受け止めている。

(2) 学校の教育活動について

○学校の情報公開については、多くの保護者が理解・賛同してくれている。

○前回同様に、「先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきなどに積極的に取り組んでいる」に対して、「そう思う」と回答した保護者は、30%に達していない。「ほぼ・・・」を入れると、およそ80%になるが、否定的な回答も15%いることを忘れてはいけない。

○「学校は、生命を大切に作る心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている」に対しては、「そう思う」と回答した保護者はおよそ20%で、前回より低い結果となっている。「ほぼそう思う」を入れると90%を超えるが、日常生活や行動面などから見取ることが難いため、保護者としても正確に把握できないのかもしれないが、道徳を中心にこれらの項目について、もう少し力を入れていく必要がある。

(3) 子どもの様子について

○全ての項目で、回答結果が前回はよい方向に上回っている。全ての子どもが、「学校に来るのを楽しみにし、友達と仲良く生活している」ようである。また、「学校のことをよく話す」ようになり、「基礎学力が身につけている子」も多くなったようである。

(4) 保護者自身について

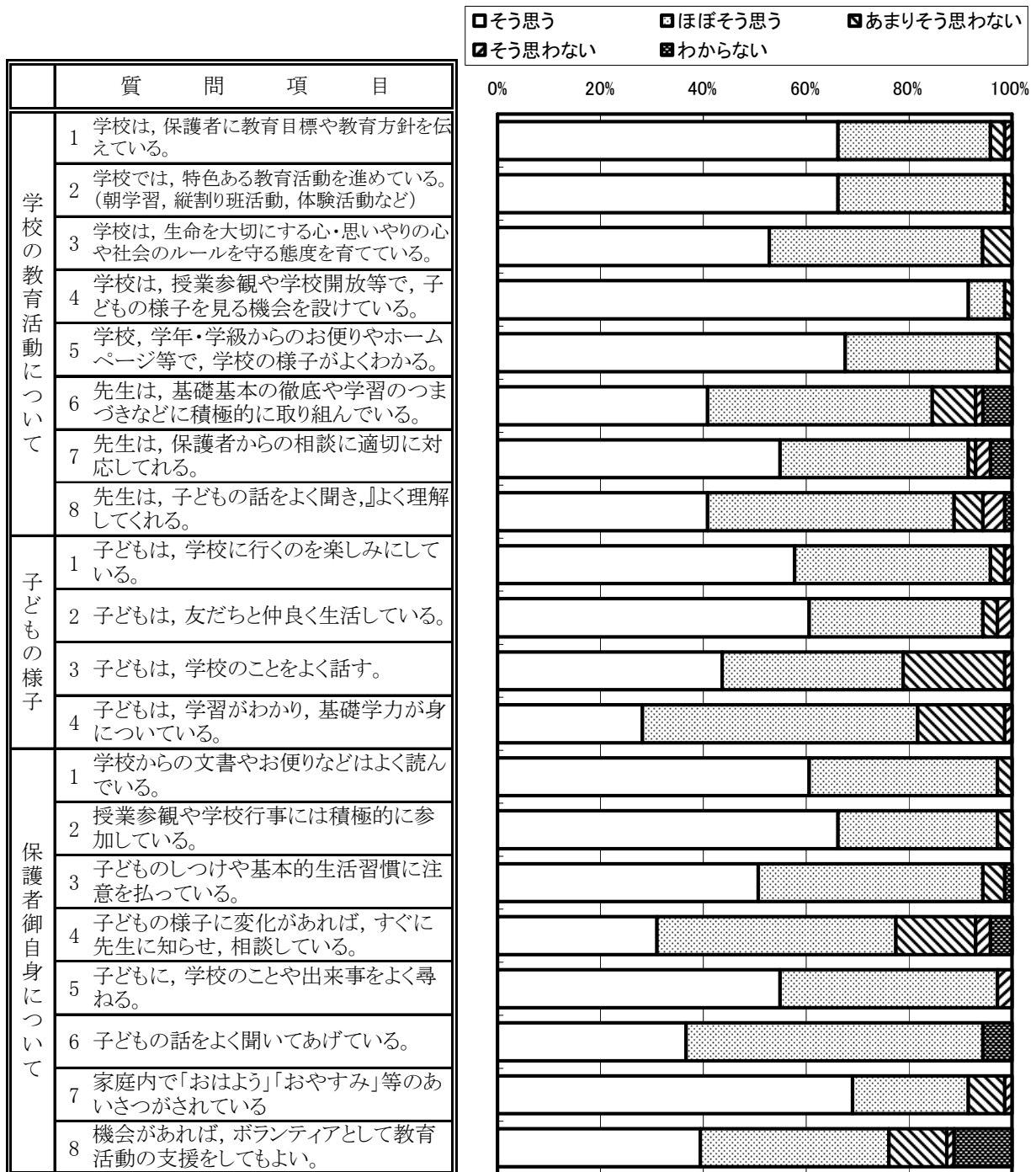
○「授業参観や学校行事に積極的に参加している」保護者が多くなり、「子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払うようになった」保護者も増加している。

○「学校からの文書やお便りなどはよく読んでいます」保護者の割合がやや減少したが、時期的な忙しさと学校からの文書などの増加により、時間が不足気味なのかもしれない。

4 保護者アンケートより

平成22年12月実施

(1) 集計結果



《考察》

(1) アンケート全体より

- 全質問項目に対する回答の傾向は、PTA役員の回答傾向と非常によく似た傾向になっている。
- 全20質問項目中、肯定的回答が80%以上の項目が17あり、他の3項目も80%に近い肯定的回答になっているため、やはり保護者は学校教育に対して好印象を持っていると言える。

(2) 学校の教育活動について

- 学校の情報公開については、役員さんより多くの保護者が理解・賛同してくれている。
- 全体的に肯定的回答が多いが、「先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきなどに積極的に取り組んでいる」「先生は子どもの話をよく聞き理解してくれる」に対し、10%前後の否定的な回答が気になる。

(3) 子どもの様子について

- 「学校のことをあまり話さない」と思われている子が20%おり、「学習がわかり、基礎学力が身につけている」と思われていない子も20%近くいる。この分析を学校としてしっかりする必要もあるかもしれない。

(4) 保護者自身について

- 全項目とも、比較的良好な結果が出ているが、「子どもの様子に変化があれば、すぐ学校に知らせ、先生に相談している」に対して、20%前後の保護者が否定的に回答をしている。この設問には、子どもの変化に気づき、尋ね、話し合い、そして学校に連絡・相談するという段階があるため、保護者がどの辺りをもとにして回答しているかわからない。

5 今後の課題と改善点

	課 題	改 善 点
1	基礎学力の充実	①校内研究会，研究授業の充実を図る。 ②子どもに寄り添う時間を確保するために学校行事等を工夫する。 ○年間行事の見直しと組み替え ○集会活動の見直し ○行事でつけさせたい力を明確にし，不必要に華美にならないよう，目標に沿った活動を計画する
2	進んであいさつができる子どもの育成	①「あいさつ運動」の見直しを図る。 ②保護者や地域との連携の手段を探る。
3	子ども・保護者・地域との好ましい関係の維持と更なる充実	①情報提供の充実 ○たより ○学校ホームページ ○家庭訪問 ○学校連絡メール ②誠意ある対応，共感的な対応，迅速な対応に努める